	科	目 名		学年				
実験計画法: Design of Experiments 2K								
教 員 名 岸川善紀 : KISHIKAWA Yoshinori								
単位	授業時間	科目区分	授業形態					
2 100分×15回		選択	講義∙前期					

授業概要

いろいろな現象を実験や調査で解明しようとするとき、実験計画法は データを効率的に集める手段と客観的な結論を導くのに有用な手段である、 本講義では、実験計画法の考え方を理解し、基本的概念の習得を目指す.

到 達 目 標 (1)各種確率分布の定義や性質を説明できるこ 評 価 方 法

と | 評価方法は、①期末試験、②自学 | (2)検定の考え方を理解し、確率検定ができるこ | 自翌によるルポートレハテフトで調

	(2)検定の考え方を理解し、確率検定ができるこ 自習によるレポートと小テストで記述し、								
(3) -	と.								
学	習∙教育)(1)	JAB	EE基準1(2) (c)			
	□	項	目			内 容			
	第1	ガイダン	ノ ス	本講義の概要					
	第2	確率分	布(1)	確率と確率分布, 離散分布, 二項分布					
	第3	確率分	布(2)	連続分布, ポアソン分布					
	第4	確率分	布(3)	正規分布, 検定					
授	第5	検定(1	B(1) 母平均の推定と検定						
	第6	検定(2)	母分散に関する推定と検定					
業	第7	検定(3)	母平均の差の推定と検定					
	第8	中間まとめ		ここまでのまとめと今後の展開					
計	第9	サンプリング (1)		有限母集団からのサンプリング, 2段サンプリン グ					
	第10	サンプリング (2)		層別サンプリング、その他のサンプリング					
画	第11	一元配置(1)		母数模型を用いた一元配置					
	第12	一元配置(2)		変量模型を用いた一元配置					
	第13	二元配置		繰り返しのない二元配置、繰り返しのある二元配置					
	第14	直行配列		直交配列の考え方					
	第15	まとめ	全体の学習事項の ンケートを行う。			iのまとめを行う。また授業評価ア			
自	自学自習の内容 レポート			・を課す					
	関連科目 数理情報			報工学,複雜系理論入門					
	教 科 書 適宜プリ			ントを配布する					
+∞ →	参考書			- 柯娄部/エマント ナケミ					
	授業評価·理解度 最終回I 副担当教員			に授業評価アンケートを行う.					
	備考								